

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 177 2021. 6. 1

日本教育情報学会 運営本部事務局

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4 丁目 698-1

大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 若杉研究室

TEL : 090-1026-1413 FAX : 050-3488-5061

E-mail : jsei@ml1.osaka-kyoiku.ac.jp HP : <http://jsei.jp/home/>

日本教育情報学会 第 37 回年会の開催にあたって

第 37 回年会の開催が、近づいてまいりました。昨年度からの新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ収束の見えない状況です。しかし、人々はその中でも創意工夫を働かせ、新たな職を創出したり、暮らしの工夫をしたりしながら、少しでも心豊かな生活を営むことを行っているように感じています。

その中においても、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学の教育機関や、様々な教育の場において、物理的に直接的な人と人の交流を最小限にして、かつ、教育効果を最大限にする様々な教育方法を開発・実践されてきています。

創意工夫された新しい学びの方向性として、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」していくために、「教育情報」の在り方が 1 つのカギであり、それをどのように利活用していくのが求められています。

本年会では、この「教育情報」をどのようにとらえ、利活用していくのか、基調講演・シンポジウム・特別セミナー・研究発表を通して、皆様と議論し、考えていくことができましたらと願っています。

来る“Society5.0 時代”における新しい学びの在り方を、今まさに模索している時に、本年会において多くの皆様と新たな「教育情報」の在り方に向けて議論し、その方向性を考えることができることを願っています。

本年会は、遠隔と対面を併用したハイフレックス型学会での開催を予定しておりましたが、現在の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、遠隔のみでの「オンライン学会」の方式に変更をさせていただきます。対面でのご発表や参加を心づもりしておられました会員の皆様におかれましては、誠に申し訳なく思います。しかしながら、会員の皆様、参加者の皆様の安全を第一に考え、このような決断をいたしましたこと、ご了承いただきたく思います。遠隔で皆様とお会いすることとなりますが、今だからこそ、日本教育情報学会として対面でも遠隔でも変わりえることのない成果を得ることのできる年会が開催できればと思います。この年会が、新たな「教育情報」を様々な角度から検討・検証する場となることを願います。

最後になりましたが、多くの皆様のご発表のお申し込みをたまわりました。お申し込みをいただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

第 37 回 年会実行委員長 齋藤陽子

◆第37回年会開催要項

期日：2021年8月28日（土）、29日（日）

会場：【参加会場】各自任意の場所から Zoom での参加

【年会事務局】岐阜女子大学 文化情報研究センター

＜所在地＞〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町 10 番地 杉山ビル 4 階

＜大学 HP＞<https://gijodai.jp/circ/>

問い合わせ先：http://jsei-nenkai.jp/?page_id=24

日程：

1 日目 8月28日（土）	
10:00 ~ 12:00	＜課題研究＞ ICT 活用研究会・プログラミング研究会 デジタルアーカイブ研究会 教職開発研究会 IR 研究会 特別支援教育 AT 研究会 教育資料研究会 国際交流研究会
12:00 ~ 13:00	休憩・企業プレゼンテーション
13:00 ~ 13:30	総会結果報告 学会賞発表
13:45 ~ 14:45	＜基調講演＞ 1人1台端末と教育データの利活用による初等中等教育の未来 講演者：桐生崇（文部科学省初等中等教育局企画官）
15:00 ~ 17:00	＜シンポジウム＞ 個別最適化と創造性を育む教育と教育情報環境には何が必要か コーディネータ：齋藤陽子（岐阜女子大学） シンポジスト： 豊福晋平（国際大学） 服部晃幸（岐阜県教育委員会） 上水流信秀（情報モラル教育研究所） 鍋谷正尉（渋谷区立小学校） 中野生子（Google 株式会社事業戦略）

2 日目 8月29日（日）															
9:30 ~ 12:00	<table border="0"> <tr> <td>＜課題研究＞</td> <td>＜一般研究＞</td> </tr> <tr> <td>ICT 活用研究会</td> <td>情報教育①</td> </tr> <tr> <td>遠隔教育研究会</td> <td>教育実践①</td> </tr> <tr> <td>IR 研究会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育資料研究会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職開発研究会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国際交流研究会</td> <td></td> </tr> </table>	＜課題研究＞	＜一般研究＞	ICT 活用研究会	情報教育①	遠隔教育研究会	教育実践①	IR 研究会		教育資料研究会		教職開発研究会		国際交流研究会	
＜課題研究＞	＜一般研究＞														
ICT 活用研究会	情報教育①														
遠隔教育研究会	教育実践①														
IR 研究会															
教育資料研究会															
教職開発研究会															
国際交流研究会															
12:00 ~ 13:00	休憩・企業プレゼンテーション														
13:00 ~ 14:00	＜特別セミナー＞ 学習者中心の教育を実現するインストラクショナルデザイン －GIGA スクール構想と個別最適な学び－ 講演者：稲垣 忠（東北学院大学）														
14:15 ~ 17:00	＜一般研究＞ デジタルアーカイブ 教育方法 情報教育② 教育実践② 教材開発 教育実践③ 教科教育・遠隔教育・学習評価・その他														

◆基調講演

1人1台端末と教育データの利活用による初等中等教育の未来 ＜講演者＞桐生 崇 氏

（文部科学省初等中等教育局 初等中等教育企画課 学びの先端技術活用推進室長）

文部科学省では、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けて、GIGA スクール構想の実現のための取組を推進しています。

そのために、端末・ネットワーク整備だけでなく、日常的にICTを活用できる体制を整備し、デジタルならではの学びを充実させるため、ハード・ソフト・人材を一体とした改革を進めています。

本講演では初等中等教育の未来に必要な不可欠な教育データの利活用について、最新の政策動向や今後の展望をお話しします。

◆シンポジウム

個別最適化と創造性を育む教育と教育情報環境には何が必要か

＜コーディネーター＞齋藤陽子（岐阜女子大学）

“Society 5.0 時代”の新たな教育の技術革新は、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するものであり、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるものです。これは、時間と距離の制約を取り払い、教育の平準化につながるオンライン教育は、海外との連携授業も視野に入ってきます。また、個別最適化で効果的に学びを支援していくためには、子どもたち一人ひとりの状況を把握し、学習、知識・技能の定着を助ける個別最適化（AI）ドリルの活用なども想定されます。

特に、学習の記録をデジタルで記録することによって児童生徒自らが振り返り学習に活用する学習支援のための教育情報や、個別最適な学習指導・生徒指導を実現する指導改善。そして、大量の蓄積された教育情報を大学等で分析することによって教授法や学習法などの新たな知見を創出するなど、新しい学びを実現していくためには「教育情報の利活用」がキーワードとなります。

また、新たな教育の技術革新により、学習指導要領のコード化がされ、学習履歴をデジタルで蓄積できる環境が整います。その結果として、過去の教育実践記録等の教育情報を学習指導要領のコードと関連付けて利活用することも重要であり、デジタル教科書やデジタル教材、デジタルアーカイブのコンテンツに学習指導要領コードを付与することで、関連資料を一覧で表示することもできます。

デジタル教科書やデジタル教材、図書館や博物館をはじめとする外部コンテンツの活用を促し、社会の多様な力を教育現場で活用していくためにもこれらの教育情報環境が重要となります。

GIGA スクール構想が掲げる「子どもたち一人ひとりに最適化され、創造性を育む学び」を実現するためには、このような教育情報の環境整備が欠かせません。

本シンポジウムにおいては、ハードの整備を含め教育情報を利活用する意義についてさまざまな視点から議論します。

＜シンポジスト＞

- 豊福 晋平（国際大学）
- 服部晃幸（岐阜県教育委員会）
- 上水流 信秀（情報モラル教育研究所）
- 鍋谷正尉（渋谷区立千駄谷小学校）
- 中野生子（Google 株式会社事業戦略）

令和3年度 日本教育情報学会主催 特別セミナー

日 時： 令和3年8月29日（日） 13:00～14:00

場 所： 各自任意（Zoomによる開催）

参加費： 無 料

【テーマ】

学習者中心の教育を実現するインストラクショナルデザイン

ーGIGA スクール構想と個別最適な学びー

＜登壇者＞ 稲垣 忠（東北学院大学）

GIGA スクール構想により児童生徒1人1台、1人1アカウントの環境と高速ネットワークが整備された。この環境を活かし、学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学びの実現につなげるには、従来の教師が授業のどの場面でどのように ICT を活用することが効果的か？といった考え方から脱却する必要がある。

同様に、児童生徒の「学び」にとって「授業」は多様な学びの場の1つであり、「よい授業」の目的化から脱することが求められている。1人1台、1人1アカウントは児童生徒にとっての学習環境の基盤である。授業の中に閉じていた ICT 活用から、児童生徒の学びを柔軟かつ包括的に支援する環境の活用へと発想の転換が求められる。

講演では、学習者の学びを支援する理論的基盤であるインストラクショナルデザインの立場から、1人1台環境における学びのデザインについていくつかの論点を提案する。本学会における学習者中心の教育に資する教育情報学研究の広がりを期待したい。

◆ 課題研究発表 28日(土)

テーマ：GIGAスクールを支えるICTの活用(ICT活用研究会)
GIGAスクール環境下におけるプログラミング教育の在り方
(プログラミング教育研究会)
28日(土) 10:00 ~ 12:00
コーディネーター：山本利一(埼玉大学)、小熊良一(群馬大学)

- 1AA1 1人1台のタブレット端末の活用方法に関する研究
ー小学校1年生児童が道具として活用する方法の在り方ー
松井徹(岐阜女子大学)、齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 1AA2 初等教育におけるプログラミング学習教材のデジタルアーカイブ基礎研究
比嘉勇太(沖縄女子短期大学)
- 1AA3 「GIGA 端末の効果的な授業活用とプログラミング教育の推進について」
ー苦手意識の高い現場におけるサポートの実践報告ー
片柳木の実(調布市立若葉小学校)、鍋谷正尉(渋谷区立千駄谷小学校)、
財間理史(八王子市立横山第二小学校)
- 1AA4 動画を活用したプログラミング教育の教育効果について(3)
ーオンライン講座を含むプログラミング体験講座による
実践事例の分析を通してー
新垣さき(沖縄女子短期大学)、大森洋介(一般社団法人ツクル)、
比嘉勇太(沖縄女子短期大学)

テーマ：オンライン教育におけるデジタルアーカイブの役割
(デジタルアーカイブ研究会)
28日(土) 10:00 ~ 12:00
コーディネーター：井上透(岐阜女子大学)、皆川雅章(札幌学院大学)

- 1AB1 デジタルアーカイブ化を目的とした画像データのオンライン講義利用
皆川雅章(札幌学院大学)
- 1AB2 課題探究型学習におけるデジタルアーカイブの役割
熊崎孝之(岐阜県立郡上北高等学校)、久世均(岐阜女子大学)
- 1AB3 地域資料のデジタルアーカイブ化に向けた MALUI 連携実現の課題
前川道博(長野大学)
- 1AB4 語りのデジタルアーカイブにおけるデジタルペンの活用
谷里佐(岐阜女子大学)
- 1AB5 知識循環型デジタルアーカイブにおける地域課題解決についての基礎的研究
ー知的創造サイクルを生かした地域課題の実践的な解決手法ー
山田紗弥(岐阜女子大学大学院)、久世均(岐阜女子大学)
- 1AB6 デジタルアーキビストの実践教育における ICT の活用
林知代(岐阜女子大学)、櫛彩見(岐阜女子大学)
- 1AB7 デジタルアーカイブ経営の構成要素研究
ーデジタルアーカイブ経営論構築に向けた試案ー
井上透(岐阜女子大学)

テーマ：学習の個別最適化のための教学 IR と DX(IR 研究会)

28日(土) 10:00 ~ 12:00

コーディネーター：森雅生(東京工業大学)、小柏香穂理(お茶の水女子大学)

- 1AC1 文系大学の初年次教育における教学 IR の活用
藤本光司(芦屋大学)、成瀬優享(芦屋大学)、新谷隆之(芦屋大学)
- 1AC2 経営系学科新入生に対する基礎学力 e-learning システムを用いた
学修効果調査結果
室谷心(松本大学)、上條直哉(松本大学)
- 1AC3 大学の中期計画に共通する成功事例の特徴
ー私立大学の公的文書を対象とした事例研究ー
小柏香穂理(お茶の水女子大学)、杉原亨(関東学院大学)、
相原総一郎(芝浦工業大学)、森雅生(東京工業大学)
- 1AC4 IR に必要な大学情報のメタ情報
森雅生(東京工業大学)

テーマ：個別最適化され、創造性を育む新たな学びの在り方(教育資料研究会)

28日(土) 10:00 ~ 12:00

コーディネーター：又吉斎(沖縄女子短期大学)、高村真希(北陸学院大学)

- 1AD1 保育者の遊戯室に関する意識調査ーA市の保育者へのアンケート調査からー
高村真希(北陸学院大学)、浅香聡彦(大徳学園)、齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 1AD2 児童が獲得した知識を学習の終末段階に概念化する記憶再生マップの効果の
自己組織化マップによる検証
古川美樹(武雄市立北方小学校)、角和博(佐賀大学)
- 1AD3 小学校における知識創造型授業を目指した教育方法に関する考察
ーICTを活用した教育方法に着目してー
加藤晴美(岐阜女子大学大学院)、松井徹(岐阜女子大学)、
齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 1AD4 幼児の表現力を引き出す音源の創作1
ー3歳児のなりきりの表現に着目してー
堀田彩乃(刈谷市立幼稚園)、齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 1AD5 小学校英語教育の目標分析と地域資料のデジタルアーカイブを用いた
創造性を育む教材化の試案
又吉斎(沖縄女子短期大学)、山中マーガレット(岐阜女子大学)

テーマ：創造性を育む教育を実現するための授業技術，教材開発(教職開発研究会)

28日(土) 10:00 ~ 12:00

コーディネーター：治京玉記(大阪夕陽丘学園短期大学)、
三田薫(実践女子大学短期大学部)

- 1AE1 外国人留学生を対象としたAI翻訳の利用と展望について
治京玉記(大阪夕陽丘学園短期大学)
- 1AE2 地域課題の解決に向けた問題解決学習の展開
ー地域との協働と小・中学校間の接続・連携を中心にしてー
奥村信夫(滋賀大学)
- 1AE3 ICT活用指導力向上に資する教育委員会と連携した
教員免許状更新講習の取り組み
伊藤剛和(奈良教育大学)、小崎誠二(奈良教育大学)
- 1AE4 ICTを活用した異世代交流活動の成果と課題
ー都道府県教育委員会担当者への聞き取り調査からー
三田薫(実践女子大学短期大学部)、及川麻衣子(山野美容芸術短期大学)

テーマ：ニューノーマル時代における教育・研究のグローバル化の在り方を模索する

(国際交流研究会)

28日(土) 10:00 ~ 12:00

コーディネーター：清水義彦(富山県立大学)、陳那森(関西国際大学)

- 1AF1 中学校でのICT活用海外交流学習における障害と新たな展開案
清水義彦(富山県立大学)
- 1AF2 グローバル人材育成のための経験学習を活かした就職支援の検討
齋藤勝洋(関西国際大学)、陳那森(関西国際大学)、山下泰生(関西国際大学)
- 1AF3 中国の長期介護保険制度に関する一考察
韓慧(曲阜師範大学)、袁広偉(曲阜師範大学)
- 1AF4 Moodleを活用した高校日本語模擬試験の構築
袁広偉(曲阜師範大学)、韓慧(曲阜師範大学)
- 1AF5 留学生のキャリア教育プログラム開発のための一考察
ー就業意識に関する調査の分析からー
総田はるみ(横浜商科大学)、田中聖華(横浜商科大学)、立野貴之(松陰大学)

テーマ：合理的配慮とアシスティブ・テクノロジー(特別支援教育 AT 研究会)

28日(土) 10:00 ~ 12:00

コーディネーター：小川修史(兵庫教育大学)、新谷洋介(金沢星稜大学)

- 1AG1 特別支援教育におけるオンライン授業における合理的配慮の検討
金森克浩(帝京大学)、為川雄二(帝京大学)、中野泰志(慶應義塾大学)、
新谷洋介(金沢星稜大学)、水内豊和(富山大学)、副島賢和(昭和大学)
- 1AG2 特別支援学校におけるプログラミング教育の在り方を考える(2)
－1980年代後半の小学校での実践事例との比較検討より－
中島栄之介(奈良学園大学)
- 1AG3 重度身体障害者の視線入力等を活用した eSpots 参加(4)
－視線＋ワンボタンによる模型等の操作の開発－
大杉成喜(皇學館大学)、金森克浩(帝京大学)、新谷洋介(金沢星稜大学)
- 1AG4 特別な配慮を必要とする児童・生徒への指導・支援
のための教育情報に関する研究
－都道府県教育委員会担当者への聞き取り調査から－
太田容次(京都ノートルダム女子大学)、梅田真理(宮城学院女子大学)、
金森克浩(帝京大学)、丹羽登(関西学院大学)、濱田麻里(京都教育大学)
- 1AG5 特別な配慮を要する子どもに対する消費者教育疑似体験教材パッケージの開発
新谷洋介(金沢星稜大学)、上野颯子(金城学院大学)、長谷川元洋(金城学院大学)

◆ 課題研究発表 29日(日)

テーマ：GIGAスクールを支えるICTの活用(ICT活用研究会)

29日(日) 9:30～12:00

コーディネーター：河野敏行(岡山理科大学)、坂井岳志(墨田区立八広小学校)

- 2AA1 Web ページでの遠隔講義支援ツールについて
ーコロナ禍の取り組み結果についてー
河野敏行(岡山理科大学)
- 2AA2 オンラインを活用した「技術における問題解決学習」を支援する授業実践
木村僚(埼玉大学大学院)、山本利一(埼玉大学)
- 2AA3 ICT活用でコミュニケーション能力を育む
ーデジタル目付字の発表を通してー
公文美貴(愛知県常滑市立大野小学校)、上野真弓(家庭教育力研究所)
- 2AA4 テクノロジーを活用した小学理科の豊かな学びの評価
ー学習経過の意識変容ー
及川浩和(中日本自動車短期大学)、臼井悠一(岐阜大学)、
山崎宣次(山梨県立大学)
- 2AA5 対話的な学びを支援するための映像制御システムの仕様について
今井弘二(情報通信研究機構)
- 2AA6 豊かな学びを実現する学習指導の一考察
埴岡靖司(岐阜県山県市立高富小学校)、臼井悠一(岐阜大学)、
及川浩和(中日本自動車短期大学)、山崎宣次(山梨県立大学)
- 2AA7 GIGA スクール構想が目指すものと、学校現場の実践と課題
ーその先に見えているものは何かー
坂井岳志(墨田区立八広小学校)

テーマ：個別最適化され、創造性を育む遠隔教育の可能性(遠隔教育研究会)

29日(日) 9:30～12:00

コーディネーター：横山隆光(岐阜女子大学)、熊崎康文(岐阜女子大学)

- 2AB1 「学びの評価項目」を用いて調査した遠隔教育に関する学生の意識
横山隆光(岐阜女子大学)、松川禮子(岐阜女子大学)、
久世均(岐阜女子大学)、齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 2AB2 オンライン授業におけるアクティブラーニングの可能性
ーコロナ禍での実践を通してー
永井恵一(淑徳大学)
- 2AB3 学生主催のアンプラグド型プログラミング教室の成果と課題
ー効果的なオンライン学習プログラムの開発を目指してー
星野祐子(十文字学園女子大学)、井上彩里(十文字学園女子大学)、
安達一寿(十文字学園女子大学)、名塚清(十文字学園女子大学)
- 2AB4 e-learning を主体としたオンライン教育に関する高校生の意識調査の分析
若林萌(岐阜女子大学)、山下瑠(岐阜女子大学)、
大窪あみ(岐阜女子大学)、久世均(岐阜女子大学)
- 2AB5 コロナ禍での大学教育に関する実践と評価
ーハイフレックス型授業を中心とした取り組みー
安達一寿(十文字学園女子大学)、綿井雅康(十文字学園女子大学)

- 2AB6 個の進度に合わせた学習を可能にする
「GIGA スクール端末」導入の現状とその考察
ープログラミングリモート授業の実践をとおしてー
望月陽一郎(大分県立芸術文化短期大学)
- 2AB7 遠隔共同学習の実践と GIGA スクール構想
ー1人1台端末を活用しての遠隔協働授業の試みー
熊崎康文(岐阜女子大学)、新田直(岐阜女子大学)

テーマ：学習の個別最適化のための教学 IR と DX(IR 研究会)

29日(日) 9:30 ~ 12:00

コーディネーター：高田英一(神戸大学)、石井雅章(神田外語大学)

- 2AC1 ビジネス・プロセス・マネジメントに基づく大学業務の分析・改善法の一提案
ーIRを前提としたデジタルライゼーションの取り組みー
今井匠太郎(東京工業大学)、森雅生(東京工業大学)
- 2AC2 小樽商科大学における IR 基盤の整備と大学運営の DX
ー統合型データベースシステムの構築とデータの効率的な活用ー
西出崇(小樽商科大学)
- 2AC3 我が国の大学におけるレピュテーション・マネジメントの現状と課題
ー国公立大学を対象としたアンケート調査の結果を基にー
高田英一(神戸大学)、大石哲也(東京工業大学)、森雅生(東京工業大学)、
関隆宏(新潟大学)、小柏香穂理(お茶の水女子大学)、
劉沙紀(九州大学)
- 2AC4 レピュテーション・マネジメントにおけるステークホルダーについての調査結果
ー使用している手法・ツールとその効果に注目してー
大石哲也(東京工業大学)、高田英一(神戸大学)、劉沙紀(九州大学)、
小柏香穂理(お茶の水女子大学)、関隆宏(新潟大学)、森雅生(東京工業大学)

テーマ：個別最適化され、創造性を育む新たな学びの在り方(教育資料研究会)

29日(日) 9:30 ~ 12:00

コーディネーター：成瀬喜則(富山大学大学院)、齋藤陽子(岐阜女子大学)

- 2AD1 個別最適化された学びを実現するために必要な ICT 活用能力に関する考察
ー教員養成課程在籍学生が身に付ける ICT 活用能力ー
齋藤陽子(岐阜女子大学)、佐藤優希(神奈川県小学校)、
加藤晴美(岐阜女子大学大学院)、松井徹(岐阜女子大学)
- 2AD2 地域資料のデータベース化を通じた教材開発について
ー小学校の教育課程における社会科副読本の新たな在り方の検討を通してー
富村寿也(岐阜女子大学大学院)
- 2AD3 グループの考えを試行錯誤できる実験の場の在り方
ーMicro:bit を用いた小学校 3 年生理科の実践ー
鼎裕憲(富山市立新庄北小学校)
- 2AD4 G I G A スクール構想による思考力を高めるための学習プロセスの反応分析
ーレスポンスアナライザを活用した発問の違いにおける集団反応曲線の分析ー
堀信哉(大垣市立西部中学校)、齋藤陽子(岐阜女子大学)、久世均(岐阜女子大学)
- 2AD5 共同で課題を設定しプログラミングで解決する学習について
成瀬喜則(富山大学大学院)、梅伸司(富山高等専門学校)、
鼎裕憲(富山市立新庄北小学校)、寺崎明則(富山大学人間発達科学部附属中学校)

テーマ：創造性を育む教育を実現するための授業技術，教材開発(教職開発研究会)

29日(日) 9:30 ~ 12:00

コーディネーター：林徳治(甲子園大学)、佐藤典子(甲子園大学)

- 2AE1 リモートによるシラバス作成のためのFD研修の実践
ー新任・実務家出身の教職員を対象としてー
林徳治(甲子園大学)、梶木克則(甲子園大学)、黒川マキ(大阪学院大学)
- 2AE2 コロナ感染症対策におけるオンラインによる定期試験の実施とその課題
吉田弘子(中村学園大学短期大学部)、津崎美穂(中村学園大学短期大学部)
- 2AE3 教職科目「教育行政学」での興味関心を育てる授業設計の考察
ー栄養教諭養成課程の学生を対象としてー
泉廣治(甲子園大学)、林徳治(甲子園大学)
- 2AE4 学生チームによる授業観察プログラムにおける授業解釈の変化
古田紫帆(大手前大学)
- 2AE5 栄養士養成課程におけるオンライン授業の実践
佐藤典子(甲子園大学)

テーマ：ニューノーマル時代における教育・研究のグローバル化の在り方を模索する

(国際交流研究会)

29日(日) 9:30 ~ 12:00

コーディネーター：清水義彦(富山県立大学)、陳那森(関西国際大学)

- 2AF1 オンラインでできるお菓子作り算数メソッドの実践報告
ー国際教育学会での発表を終えてー
上野真弓(家庭教育力研究所)
- 2AF2 誤答歴に基づいたプッシュ型言語学習システムの設計
包胡日查(揚州大学)、袁広偉(曲阜師範大学)
- 2AF3 中国語母語話者とモンゴル語母語話者の日本語学習評価について
ー内モンゴル大学日本語専攻の学生を中心にー
巴徳瑪(内蒙古大学)
- 2AF4 中国における高校日本語教育市場の分析
田間耕、袁広偉(曲阜師範大学)
- 2AF5 A research on the factors affecting college students' continual learning
in online courses in the post-epidemic era
Ye Liuyu BAOHyricha
- 2AF6 コロナ禍における海外体験型プログラムの新たなカタチの模索
陳那森(関西国際大学)、山下泰生(関西国際大学)、齋藤勝洋(関西国際大学)

◆ 一般研究発表 29日(日)

情報教育①

29日(日) 9:30 ~ 12:00

座長：若杉祥太(大阪教育大学)、納庄聡(芦屋学園高等学校)

- 2AG1 大学におけるデータサイエンス教育の現状と課題(1)
ー全国の大学シラバス調査をもとにー
若杉祥太(大阪教育大学)、中谷有里(芦屋大学)、納庄聡(芦屋学園高等学校)、
永田侑大(芦屋学園高等学校)、木村悠人(芦屋大学)
- 2AG2 高等学校情報科におけるデータサイエンス教育の考察 1
ーデータサイエンスに関する意識調査をもとにー
永田侑大(芦屋学園高等学校)、若杉祥太(芦屋大学大学院)、
木村悠人(芦屋大学)、中谷有里(芦屋大学)、納庄聡(芦屋学園高等学校)
- 2AG3 高等学校情報科におけるデータサイエンス教育の考察 2
ーデータサイエンスに関するスキル調査をもとにー
木村悠人(芦屋大学)、永田侑大(芦屋学園高等学校)、
若杉祥太(大阪教育大学)、中谷有里(芦屋大学)、納庄聡(芦屋学園高等学校)
- 2AG4 中学・高校情報教育の体系化と科学的理解の在り方
ー新学習指導要領の目指す資質・能力(三つの柱)を踏まえた教材提案と実践ー
工藤雄司(茨城大学)、本村猛能(日本工業大学)
横山駿也(飯能市立飯能第一中学校)
- 2AG5 小学校プログラミング教育での大学生の遠隔支援と対面支援に関する考察
山本朋弘(中村学園大学)、堀田龍也(東北大学大学院)
- 2AG6 小学校終了段階での情報セキュリティの意識・知識の実態
小熊良一(群馬大学)、山本利一(埼玉大学)
- 2AG7 体系的データサイエンス教育の提案と大学における実践例
弓林司(株式会社ブレインパッド)、本郷健(大妻女子大学)
- 2AG8 オンデマンド授業による学習観の変容に関する調査研究(2)
林泰子(芦屋大学)、若杉祥太(大阪教育大学)、中谷有里(芦屋大学)
- 2AG9 プログラミング的思考を目的とした自己調整学習に関する研究(5)
納庄聡(芦屋学園高等学校)、若杉祥太(大阪教育大学)、中谷有里(芦屋大学)

教育実践①

29日(日) 9:30 ~ 12:00

座長：山崎宣次(山梨県立大学)、加藤亮介(日本大学)

- 2AE1 個に応じた計算ドリルを使った取り組みとその成果
山崎宣次(山梨県立大学)、河合繁樹(岐阜県教育委員会)、
松井徹(岐阜女子大学)、臼井悠一(岐阜大学)、加藤直樹(元岐阜大学)
- 2AE2 小学校の授業に関わる量的データ分析の試み
中澤茂忠
- 2AE3 GIGA スクール構想における遠隔共同学習(1998年)の実践結果の適用と課題
眞喜志悦子(岐阜女子大学)
- 2AE4 幼小接続プログラムの開発
ー「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた
小学校低学年の授業についてのー考察ー
伊藤孝子(滋賀文教短期大学)

- 2AE5 幼児教育者養成の視点から体育授業改善を試みるー跳び箱授業の事例ー
石垣愛一郎(沖縄女子短期大学)
- 2AE6 小学校における授業での1人1台端末活用を促進する
校務でのICT活用に関する実践的検討
今村隆(兵庫教育大学大学院)、森山潤(兵庫教育大学大学院)
- 2AE7 授業改善を促すワークショップ型教員研修の実践
藤村祐子(東京学芸大学)、登本洋子(東京学芸大学)、牛玄(東京学芸大学)、
西村圭一(東京学芸大学)
- 2AE8 授業改善を促すワークショップ型教員研修の成果
登本洋子(東京学芸大学)、藤村祐子(東京学芸大学)、牛玄(東京学芸大学)
西村圭一(東京学芸大学)
- 2AE9 授業支援におけるTwitterの適性分析
加藤亮介(日本大学)、新行内康慈(十文字学園女子大学)、
安達一寿(十文字学園女子大学)
- 2AE10 絵本を活用した活動・授業と評価について
大冨見祐子(岐阜女子大学大学院)

デジタルアーカイブ

29日(日) 14:15 ~ 17:00

座長：加治工尚子(岐阜女子大学)、久世均(岐阜女子大学)

- 2PA1 沖縄戦体験の記録と継承の課題ー家族の証言記録からー
加治工尚子(岐阜女子大学)
- 2PA2 修学旅行・観光用の学習材「沖縄おうらい」の再構成について
ーリソースとしての地域資料の活用支援をめざしてー
加藤真由美(岐阜女子大学)
- 2PA3 真の「湛水流」を語るオーラルヒストリーー琉球古典音楽の源流「湛水流」継ー
仲里康雄(沖縄女子短期大学)
- 2PA4 旧中西家住宅および博物館の所蔵資料と
地域文化資源デジタルアーカイブとの連携に関する研究
ー旧中西家住宅および吹田市博物館の所蔵資料と地域文化資源との連携の研究ー
荒木久貴(岐阜女子大学大学院)、久世均(岐阜女子大学)
- 2PA5 オーラルヒストリー(自分史)のすすめ
ー昭和の生きた足跡を後世に伝え、データベースに遺すー
稲葉秀章(株式会社郡上ネット)、久世均(岐阜女子大学大学院)
- 2PA6 学校図書館におけるデジタルアーカイブの実践的研究
青木実花(長野県長野商業高等学校)
- 2PA7 地域資源デジタルアーカイブの活用研究
ー飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの保管管理と活用に関する研究ー
久世均(岐阜女子大学)、山田紗弥(岐阜女子大学大学院)

情報教育②

29日(日) 14:15 ~ 17:00

座長：相澤崇(都留文科大学)、細川光浩(福山平成大学)

- 2PB1 新中学校学習指導要領における中学校技術科の情報教育に関する基礎的研究
ー検定教科書の記載内容の分析を通してー
相澤崇(都留文科大学)
- 2PB2 入学時におけるコンピュータリテラシーについて
ー沖縄女子短期大学総合ビジネス学科を対象としてー
仲村篤(沖縄女子短期大学)

- 2PB3 短期大学生の情報流通に関する調査
阿久津毅(昭和学院短期大学)
- 2PB4 1人1台情報端末の環境で初めて指導を行った一教員の意識に関する分析の試み
渡邊光浩(鹿児島女子短期大学)、三井一希(常葉大学)、佐藤和紀(信州大学)、
中野生子(東京大学大学院)、小出泰久(大阪教育大学)、
堀田龍也(東北大学大学院)
- 2PB5 発達段階に応じて情報セキュリティを学ぶカード型教材の開発
増山一光(神奈川県立相原高等学校)
- 2PB6 一般教育科目「プログラミング入門」向けプログラミング言語に関する調査
尾崎誠(福山平成大学)
- 2PB7 College Analysis への機能追加ー多変量分散分析、コクラン Q 検定他ー
奥田由紀恵(福山平成大学)、細川光浩(福山平成大学)、福井正康(福山平成大学)
- 2PB8 2値項目反応理論のプログラム開発
福井正康(福山平成大学)、奥田由紀恵(福山平成大学)、細川光浩(福山平成大学)
- 2PB9 陰関数グラフとナッシュ均衡解のプログラム開発
細川光浩(福山平成大学)、奥田由紀恵(福山平成大学)、福井正康(福山平成大学)

教材開発	29日(日) 14:15 ~ 17:00 座長：岸康人(松蔭大学)、成瀬優享(芦屋大学)
-------------	---

- 2PC1 動画の内容理解のための Colaboratory によるアノテーション作成
ー第二言語の動画を効果的に自学習で利用するー
岸康人(松蔭大学)、立野貴之(松蔭大学)、金宰郁(松蔭大学)
MaddenAnthony(神田外語学院)
- 2PC2 「電流と電圧」の実験において体験活動を個別化するための教材開発
大西琢也(東京学芸大学附属小金井中学校)、登本洋子(東京学芸大学)、
高橋純(東京学芸大学)
- 2PC3 小学校第5学年算数科の図形領域におけるデジタル教材の開発と
学習効果に関する実践研究
ータブレット端末を活用した実践を例にー
松井徹(岐阜女子大学)、松井莉那(岐阜女子大学大学院)
- 2PC4 初学者用の AI・統計教材カード開発事例
竹内俊彦(駿河台大学)
- 2PC5 算数文章題自動作成システム(小学校1・2年)
ー文章題型式を活用した学力・自己解決能力向上ー
佐藤稔(次世代発展総合研究所)、岡部建次(次世代発展総合研究所)
- 2PC6 保育者の「見守り」場面における「熟練知」の評価
ー熟練度合の AI 教師データの収集
大沢裕(松蔭大学)、立野貴之(松蔭大学)、野末晃秀(松蔭大学)
- 2PC7 社会見学や野外学習の補填を目的としたウェブサイトの工夫と実践
今井弘二(情報通信研究機構)
- 2PC8 地域と結びついた総合学習の実践と構想
ー身近な地域のまちづくりを考える課題学習としてー
林徳治(甲子園大学)、奥村信夫(滋賀大学附属中学校)、黒川マキ(大阪学院大学)
- 2PC9 土砂災害の力学シミュレーション可能な3次元地形モデルによる防災教育
村瀬孝宏(中京学院大学)、杉原健一(岐阜協立大学)
- 2PC10 オンデマンド教育下での空間・構造認識能力訓練
ー整備士養成課程におけるロープワークを活用した試みー
成瀬優享(芦屋大学)

教育方法

29日(日) 14:15 ~ 17:00

座長：八木良広(昭和女子大学)、阪東哲也(鳴門教育大学)

- 2PD1 教育職員免許法認定講習におけるオンライン学習の可能性と問題
－愛媛大学教育学部の取り組みとアンケート調査の結果からの考察－
八木良広(昭和女子大学)、苅田知則(愛媛大学)、榎木暢子(愛媛大学大学院)、
加藤哲則(愛媛大学)、中野広輔(愛媛大学)
- 2PD2 教職科目「教育の方法と技術」における主体的・対話的で深い学びの研究
－対面授業とオンライン授業の考察と課題－
藤本光司(芦屋大学)
- 2PD3 正課授業インターンシップがもたらす学生生活とキャリア意識に関する一考察
－正課外インターンシップとの比較による「役割」充実行動の視点から－
田中聖華(横浜商科大学)、立野貴之(松蔭大学)
- 2PD4 外部人材を活用したオンラインによる学校教育支援
桜庭望(八洲学園大学)
- 2PD5 文系大学生の基礎的な計算力育成
－学習用ノートを用いた指導からオンライン授業への移行－
皆川雅章(札幌学院大学)
- 2PD6 マルウェアに関する疑似体験を取り入れた プログラミング教育講習会の試み
世良啓太(奈良教育大学)、阪東哲也(鳴門教育大学)、掛川淳一(兵庫教育大学)、
森山潤(兵庫教育大学)
- 2PD7 遠隔授業でのオンラインイベント開催の試み
－ICTの活用で離れていても共に楽しむ場の提供－
松山恵美子(淑徳大学)
- 2PD8 グローバル教育の実践に向けて－諸外国の教育事情の考察－
山片崇嗣(芦屋大学)、藤本光司(芦屋大学)
- 2PD9 講義科目におけるタブレット端末活用の工夫
坂本徳弥(椋山女学園大学)
- 2PD10 授業への全員参加を目指した小学校国語科の授業改善に関する考察
－小学校国語科授業におけるICT活用と全員参加型授業の実態調査を中心に－
藤澤未有(岐阜女子大学)、齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 2PD11 簡単な3Dモデリング体験を取り入れた小学校クラブ活動の試行的実践と評価
阪東哲也(鳴門教育大学)、長野仁志(鳴門教育大学附属小学校)、
藤原伸彦(鳴門教育大学)、曾根直人(鳴門教育大学)

教育実践②

29日(日) 14:15 ~ 17:00

座長：宮浦崇(九州工業大学)、及川浩和(中日本自動車短期大学)

- 2PE1 新機軸のFD支援方策に関する考察
－教育学習支援における環境変化への対応と課題－
宮浦崇(九州工業大学)
- 2PE2 生徒の自主性・社会性を高める特別活動の実践にあたって
－中学校における学級活動と生徒会活動を中心に－
奥村信夫(滋賀大学教育学部附属中学校)
- 2PE3 学生のキーボード利用意識に関する考察
岡田工(東海大学)、立野貴之(松蔭大学)、宮川幹平(東海大学)、
土屋守正(東海大学)
- 2PE4 コロナ禍におけるバレー実技のオンライン化について
井村薫子(芦屋大学)、藤本光司(芦屋大学)

- 2PE5 地域資源デジタルアーカイブによる地域活性化の研究
 ー観光冊子「郡上探訪 郡上であそぼ」の制作をとおしてー
 熊崎孝之(岐阜県立郡上北高等学校)、久世均(岐阜女子大学)
- 2PE6 特別支援学校におけるプログラミングの手法によって
 児童生徒の可能性を拓く支援機器の開発と実践に関する一事例
 ーコミュニケーションや活動を支援する無線遠隔ロボタンクの活用を通じてー
 高橋正義(秋田県立能代支援学校)、金森克浩(帝京大学)、
 梅田真理(宮城学院女子大学)
- 2PE7 学校における栄養教諭の食育指導の現状と課題
 ー学級活動における効果的な授業実践の在り方についてー
 泉廣治(甲子園大学)、林徳治(甲子園大学)
- 2PE8 大学周辺地域における事故多発交差点の事故要因の調査と対策
 ー地域課題解決への取組みー
 及川浩和(中日本自動車短期大学)

教育実践③

29日(日) 14:15 ~ 17:00

座長：石川敬史(十文字学園女子大学)、小川勤(静岡福祉大学)

- 2PF1 コロナ禍における移動図書館の課題と可能性に関する考察
 石川敬史(十文字学園女子大学)
- 2PF2 学術機関における業務情報流通の最適化モデルに関する検討
 ー北海道大学附属図書館における実証を通じてー
 清重周太郎(北海道大学)、三上絢子(北海道大学)
- 2PF3 コロナ禍の意識の変化と授業実践報告
 ー看護学科での情報教育ー
 石野邦仁子(淑徳大学)、松山恵美子(淑徳大学)
- 2PF4 ICTを活用した日中間の青少年交流の展開について
 ー富山県と中国遼寧省の事例紹介ー
 清水義彦(富山県立大学)、川村祥生(富山県大連事務所)
- 2PF5 オンライン授業に対応した地域連携型プロジェクト演習の指導と実践
 ー問題解決の縦糸・横糸モデルに基づくチーム学習教材の改善ー
 星名由美(日本女子大学)、久東光代(日本女子大学)
- 2PF6 ASD学生の職場定着率を高めるための就労移行支援に関する研究
 ー就労支援事業所の機能分類と利用上の留意事項ー
 小川勤(静岡福祉大学)

教科教育・遠隔教育・学習評価・その他

29日(日) 14:15 ~ 17:00

座長：立野貴之(松蔭大学)

- 2PG1 小学校プログラミング教育に活用できる豊かな学びを創造する教材開発
 ーセンサーとAIカメラを組み合わせた教材の提案ー
 埴岡靖司(岐阜県山県市立高富小学校)、臼井悠一(岐阜大学)、
 後藤和男(岐阜県関市立桜ヶ丘小学校)、及川浩和(中日本短期大学)、
 山崎宣次(山梨県立大学)
- 2PG2 個別最適な学習の視点を踏まえた小学校家庭科「ナップザックの製作」
 に関する試行的実践
 村田晋太郎(三重大学)、阪東哲也(鳴門教育大学)、
 岩崎サオ里(鳴門教育大学附属小学校)

- 2PG3 郷土の伝統工芸から生まれる美術教材
土肥由起子(宝塚市立御殿山中学校)、浅海真弓(兵庫教育大学)
- 2PG4 H-MACによる電子学生証の安全性評価について
金宰郁(松蔭大学)、立野貴之(松蔭大学)、岸康人(松蔭大学)
- 2PG5 オンライン授業がルーブリック評価に与える影響についての一考察
ー対面授業からオンライン授業への変化をルーブリック評価で分析ー
白川雄三(大阪学院大学)、高橋誠(大阪学院大学)、金崎暁子(大阪学院大学)、
- 2PG6 3つのレベルの学修成果と改善活動
呉亜矢(大阪学院大学)、白川雄三(大阪学院大学)、川上将広(大阪学院大学)、
金崎暁子(大阪学院大学)
- 2PG7 小規模学校と大規模学校での遠隔協働学習の実践
ー思考の広がり・深まりに対する考察のための実践方法の立案ー
岩本愛美(岐阜女子大学)、横山隆光(岐阜女子大学)、
菊池真也(岐阜女子大学)、齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 2PG8 オンライン授業における学生のマルチタスク制御に関する考察
藤巻貴之(目白大学)、立野貴之(松蔭大学)、加藤尚吾(東京女子大学)、
加藤由樹(相模女子大学)、金宰郁(松蔭大学)、岸康人(松蔭大学)
- 2PG9 持続可能な会社経営についての一考察ー経営者アンケートを中心としてー
池田聡(芦屋大学)
- 2PG10 ビジネスゲーム学習で発生するマルチタスクの制御に関する分析
立野貴之(松蔭大学)、加藤由樹(相模女子大学)、加藤尚吾(東京女子大学)、
若山昇(帝京大学)、青山慶(岩手大学)、竹内俊彦(駿河台大学)

◆開催方法について

<発表者の皆様>

- 当日の発表は、全て Zoom による発表となります。
- 発表方法の詳細は、開催日一週間前までにご登録いただきましたメールアドレス宛にお知らせをいたします。

<参加者の皆様>

- 当日の参加は、全て Zoom での参加となります。
- 参加方法の詳細は、開催日一週間前までにご登録いただきましたメールアドレス宛にお知らせをいたします。
- *例年とは異なりますが、参加方法を連絡するために、参加費が無料である後援教職員の方も参加申し込みが必要となります。

◆年会開催までのスケジュール

原稿提出期間	2021年6月1日(火)～7月9日(金)
参加申込期間	2021年6月1日(火)～8月6日(金)
論文郵送申込期間	2021年6月1日(火)～8月6日(金)

◆原稿提出方法

原稿は、年会 HP 内にごさいます執筆要綱に従い作成していただき、PDF 形式に変換後、「原稿提出」フォームからご提出ください。

ファイル名は本ニューズレターに記載されている4桁の発表者コード（半角英数字（発表タイトルの前に記載））としてください。

◆年会参加方法

参加申し込みの際には、下記参加費等の振込完了後、年会 HP 内の「各種申込み」メニューから「参加申込」フォームを選択して参加手続きを行ってください。

【振込先】

銀行名：三菱 UFJ 銀行
店番：483 芦屋支店
口座番号：普通 0171778
口座名義：日本教育情報学会 年会企画委員会

※振込名義は本人（参加申込者）としてください。

※大学ごとの団体振込、代理振込をされないようご注意ください。

注) 学会年会費の納入先とは異なります。お間違いないようご注意ください、お振込みをお願いします。なお、振込み間違いがあった場合は返金対応いたします。

◆各種費用について

○研究発表者（課題研究・一般研究）

年会参加費：3,000円（必須）、年会論文集費：4,000円（希望者・郵送費込み）

○年会参加者（発表なし、聴講のみの方）

年会参加費：3,000円（必須）、年会論文集費：4,000円（希望者・郵送費込み）

○後援教職員（発表なし、聴講のみの方）

年会参加費：無料、年会論文集費：4,000円（希望者・郵送費込み）

○年会論文集のみ購入される方

年会論文集費：4,000円（郵送費込み）

※振込みを先に行った後、必ず各種申込フォームより申し込みを行ってください。

※課題研究と一般研究の両方にお申し込みの方の年会参加費は3,000円（必須）です。

※後援教職員・協賛企業は年会参加費が無料です。ただし、後援教職員・協賛企業であっても発表者の場合は年会参加費が必要です。

日本教育情報学会 運営本部事務局

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698-1

大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 若杉研究室

TEL: 090-1026-1413 FAX: 050-3488-5061

E-mail: jsei@m11.osaka-kyoiku.ac.jp HP: <http://jsei.jp/home/>